

20 小建収第 475 号

平成 20 年 10 月 8 日

国土交通省道路局長 殿

香川県小豆島町

町長 坂下一朗



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号で依頼がありました、「今後の道路行政についての意見・提案」について、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

香川県小豆島町

- ・ 地域の自立と活力の強化を図るため、地方部や島嶼部の生活幹線道路整備を優先とした予算配分
- ・ 安全・安心の確保のため災害に強い道路整備で、特に迂回路のない道路や公共交通手段のない地域への重点予算配分
- ・ 道路規格・構造・工法など画一的な基準から、工夫・見直しをしてそれぞれの地域に即した基準に規制緩和をする

今後の道路行政についての意見・提案

② — 1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

香川県小豆島町

○現状 小豆島には、兵庫県姫路市を起点とし、香川県高松市を終点とする一般国道 436 号が島内唯一の国道であり、鉄道もなく公共交通手段の少ない小豆島においては非常に重要な幹線道路である。 しかし、島嶼部で平坦地が少ないため、急勾配、急カーブ箇所が多く残されている。また、山地が海岸線近くまで延びてきている地形のため、台風時等の大雨、高潮等の災害時には通行止めを余儀なくされ、迂回路もない地域が多く、住民の安全・安心確保はもちろんのこと、小豆島の基幹産業である観光産業や食品産業にも支障をきたしている現状である。 なお、海に囲まれている小豆島にとっては本州、四国を結ぶルートは民間の海上交通に頼らざるを得ないが、海上輸送料金が本州、四国より高くつき、企業経営、観光産業に大きく影響を及ぼしている。	○課題 ・ 迂回路のない幹線道路の早期整備 ・ 急勾配・急カーブ区間の解消 ・ 中山間地域の土砂災害等に強い道路整備 ・ 老朽化しつつある既存道路施設の補強・改良 ・ 交通弱者に配慮した自歩道整備 ・ 海上交通への支援 ・ 地域の実態に即した道路整備
---	--

② ー2 地域の目指すべき将来像

香川県小豆島町

町の平成 20 年度から 10 年間の新たな指針として策定した小豆島町総合計画で、「豊かな自然環境と共生する快適で安全な生活環境のまちづくり」として、治山・治水・排水対策・施設の耐震化などを進めるとともに、消防、防犯、交通安全施設の充実や自主防災・防犯体制の確立を図るとしている。

そのうち、道路網の整備では交通利便性の向上や安全性の確保のために、国道、県道などの幹線道路については、公共施設へのアクセス向上やシンボルロードの道路景観、環境の整備、歩行者や自転車利用の安全性向上、災害時の孤立防止に向けて、国・県や関係機関と調整を図りながら整備を推進する。また、住民に身近な生活道路である町道・橋梁については、計画的且つ効果的な整備と維持・管理を進める。

また、公共交通の充実で通勤・通学・通院や流通・観光などに重要な役割を果たす海上交通については、積極的な情報発信により、利用の拡大に努めるとともに、重要な玄関口である池田港、草壁港、福田港、坂手港については、それぞれの役割に応じた港湾機能の充実を図る。

なお、総合計画の大きな柱である 4 つのシンボルプロジェクトでも「安全・安心の島づくり」プロジェクトを掲げている。

本町は、昭和 49・51 年の 2 度にわたる大災害を教訓とし、以降 30 年間にわたって計画的な治山治水事業など防災関連事業を推進してきた。今後は、近年発生した高潮対策や東南海・南海地震の発生が懸念される中、住民の防災に対する関心が高まっており、自主防災体制の確立や共助のシステムづくりなどを進め、災害時における被害を最小限にとどめる減災のまちづくりを目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

香川県小豆島町

○重点事項 ・地域活力の向上 ・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	○代表事例 ・国道 436 号道路改築工事（橘トンネル） ・国道 436 号道路改良工事（外明神地区） ・県道田浦坂手港線道路改良工事 ・国道 436 号ルートの上交通支援 ・国道 436 号交通安全施設整備事業（赤坂地区） ・国道 436 号交差点改良工事（西村地区） ・県道蒲野西村線道路改良事業	○期待する効果や評価等 ・避難路、輸送路、緊急医療活動等の安全・安心の確保と、観光や経済など地域の活性化 ・交通安全確保と生活幹線道路機能の確保、並びに観光や経済活動などの地域活性化 ・二十四の瞳映画村などの観光施設へのアクセス道路であるとともに地域の唯一の生活道路であり、観光振興とともに交通安全、避難道路の確保 ・観光振興と地域経済活性化による地域活力の向上 ・自転車利用者、歩行者の安全確保 ・オリーブ公園へのアクセス道路であり、渋滞解消と交通安全の確保、並びに観光振興 ・幅員が 1 車線の上、急カーブが多く見通しも悪くこの路線沿線に点在する集落の唯一の生活幹線道路であり、交通安全と生活基盤の向上のほか避難路、緊急医療活動などの安心・安全の確保	○その他
---	---	--	-------------